

歴史的背景

創設者 ヘンリーギッセンバイアー(Henry Gissenbier)の青年会議所に対する夢

『道徳心と市民の義務を基礎とする、この組織の真髓の内側から、いつの日か永久的で不変な世界平和へと人々が奮起するメッセージが現れることを願っています。』

JCI ビジョン 若い活動的な市民たちの世界的なネットワークとしてリードすること。

JCI ミッション 積極的変化を創りだす為に青年に機会を与えることによって発展に寄与する

静岡JC 基本理念(合併協議会作成)

青年会議所は静岡市において真の地域主権型社会の実現に向けて個と公の調和のとれた自立した個人を擁立し地域の人々との協働を通じて歴史と伝統に根ざした心豊かな活力溢れるまちを創造します。

社団法人静岡青年会議所 定款 第3条(目的)

本会は、指導者訓練を基調とした自己啓発、社会への奉仕及び会員相互の友情の理念に基づき、青年としての英知と勇氣と情熱をもって、政治、経済、社会及び文化に関する諸問題を研究し、審議し、及び実践し、関係諸団体と相協力して、地域社会の正しい発展に努め、さらに、社団法人日本青年会議所及び国際青年会議所の機構を通じ、国際的相互理解及び親善を助長することにより、世界の繁栄と平和に寄与することを目的とする。

綱領(会員の運動目標を明確に位置付けたもの)

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇氣と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

(1960年12月 日本青年会議所 総会決定)

JC宣言

日本の青年会議所は
混沌という
未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する
確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

(2001年10月12日全国会員大会総会採択)

上記いずれの文献を見ても“公益事業をする”という直接的文言はないが、会員個人の為に運動を行うとは書かれていない。地域の為、国の為、平和の為と宣言している。公益すなわち公が共(地域、国、平和)の利益の為に運動している団体である。